

ニュース **玉** **手** **箱**



キッズタウンでお仕事体験



キ ャッズタウン大石田が10月20日（日）にクロスカルチャープラザで開催されました。これはキッズタウン大石田実行委員会（高橋堅代表）が主催して毎年行われているもので、子どもたちが会場に設けられた実際のお店のブースで仕事を体験し、そこで得たポイントをイベント用通貨に交換して買い物を楽しみました。会場には銀行や接骨院など町内のさまざまな業種の事業所のほか、大石田中学校生徒会や高校生ボランティアサークル二十四孝PARTⅡのブースが出展され、子どもたちは菓子店のブースでスイートポテトを作ったり、銀行ブースでお札を数えたりと、楽しみながらはたらくことについて学んでいました。

めでたく結婚50年金婚祝う

金 婚祝賀記念式典が10月25日（金）にJAみちのく村山大石田営農センターで行われ、昭和44年に結婚された20組のご夫婦の結婚50年を祝いました。式典では参加したご夫婦に町社会福祉協議会から記念品が贈呈されたほか、玉虫秀明・山形新聞尾花沢支社長から「おしどり金婚さん」顕彰レリーフが手渡されました。工藤光男さん・とし子さん（海谷）ご夫妻が「半世紀、元気で過ごせたのはまわりの方の心遣いと温かいご指導のおかげ」とお礼の言葉を述べました。その後、祝宴が行われ、参加したご夫婦は共に過ごした半世紀を振り返りお互いをたたえあっていました。



目線の高さからまちづくり考える

目 線の高さから地域の賑わいづくりを考える講演会「1階づくりはまちづくり」が11月7日（木）にKOE no KURAで開催されました。これは地域おこし協力隊の遠藤舞子さんが企画したもので、町内外から30人が参加しました。講師の田中元子さんは、賑わいづくりのための遊休地や空きテナント等の有効活用を提案している“建築コミュニケーター”。人の目線の高さ（建物の1階部分や街なか）に人が集うことが地域の賑わいを生み活性化につながるとして、自身の経験を交えながら各人が興味のあることや得技、趣味を持ち寄れる公共的な空間づくりを提案しました。講演の後は、軽食をとりながら参加者同士の交流会が行われました。



北小児童が発掘現場を見学

全 国的に珍しい古代の水駅の可能性がある駒籠地区の駒籠橋跡発掘現場を大石田北小学校6年生が10月23日（水）に訪れ、歴史民俗資料館の学芸員から調査のねらいや今年新たに発見されたことなどの説明を受けました。駒籠橋跡は、平安時代に編纂された「延喜式」に記された舟が配備された古代の駅「野後駅」の可能性のある遺跡で、平成19年から調査が継続して行われていて、今回の調査では大きな建物の遺構などが新たに発見されています。子どもたちは、発掘で使う見慣れない道具に興味津々で、説明にあたった学芸員に使い方や発掘の進め方などを次々に質問していました。



火災のない冬に 防火キャラバン出発式

消 防団員らが火の用心を呼びかける秋の火災予防運動が11月9日から15日までの一週間に開催されました。運動期間に先立って8日（金）には役場正面玄関で、三浦清孝団長はじめ団員40人が参加して防火キャラバン出発式が行われました。三浦団長は「各家庭で暖房器具を使い始める季節になった。火災ゼロを目指してしっかり防火の啓発を行いたい。」と決意を述べました。団員らはその後各班の車両に乗り込み、地区で防火標語のピラを配って火の用心を呼びかけていました。



ノルディックウォーキングで秋を満喫

大 石田スポーツクラブの土日イベント「ノルディックウォーキング教室」が11月2日（土）に行われ、紅葉美しい秋の大石田を町内外からの参加者15人が歩いて楽しみました。ノルディックウォーキングは2本のストックを使って行うウォーキングで、大石田スポーツクラブでは定期教室のほかに、会員以外の方も参加できる土日イベントを定期的に行っています。今回のイベントでは、あつたまりランド深堀をスタートして紅葉鮮やかな最上川沿いなどを歩きました。参加者はウォーキングを楽しんだあと、あつたまりランド深堀で新そばを味わい秋の大石田を満喫しました。

